

## 投稿原稿ファイル【1】（および 修正原稿ファイル【4】、最終原稿ファイル【6】）作成要領

- (1) A4 版原稿，マージン：左右各 19 mm，上下各 22 mm（版面 172 mm×253 mm）．版面は必ず守る（用紙の枠をはみ出したり，空白をつくったりしない）．
- (2) 本文：8.5 pt，行間 13 pt，1 ページは 28 字×55 行×2 段（以下 pt はポイント）
- (3) 段間：約 8.95 mm（8.5 pt×3）
- (4) 章に相当する見出しは 2 行とする．2 行にできない場合は上下各 1 行ずつ空ける．章番号も含めて左右 26 字を超えるものは 3 行とする．
- (5) 節，項に相当する見出しは上下の行を空けない．
- (6) 図中文字は仕上がりが 7.5 pt とする．図中の文字はすべて同じ大きさに統一するようにする．
- (7) 図表が 1 段に納まらない場合は，他方の段に左右 14 字以上入れられなければ，左右を余白として中央に入れる．
- (8) 参考文献は文献番号は縦にそろえ，文献自体も行頭をそろえる．
- (9) 日本語と欧字あるいは日本語と数字の間はスペース（日本語の使用 pt の約 1/4）を空ける．  
カーニングは半角英字のみとする．  
文字間隔は詰めない．句読点は全角を用いる．  
行頭・行末禁則文字を設定する．上下付き文字は行頭禁則とする．  
日本語のフォントは下記に指定している箇所を除き明朝体とする．  
欧字，数字は半角文字を使用する．欧字，数字のフォントは論文全体を通じて統一する．  
量記号はイタリック体（斜体），単位記号，演算記号はローマン体（立体）とするのが望ましい．  
句読点は，「。」、「、」ではなく，「.」，「,」（ピリオド，コンマ）を用いる．  
図表は本文記述の近くの上（原則として）に割り付ける．  
最終ページに余白が出る場合は，本文を 2 段均等に分け，下段 2 段を通して余白にする．

構成は以下のとおり．

表題・著者名・英文摘要・本文・付録・参考文献

ポイント，行間，字間等は下記のとおり．

- ・表 題 版面の天から 2 行空き（版面の天と主題との行間 26 pt）
  - 主 題 14 pt，1 行は 26 字まで．27 字以上は 2 行．行間 21 pt．サンセリフ系ゴシック体  
<9 pt 空き（副題のない場合は不要）
  - 副 題 9 pt，左右の全角ダッシュを入れて 50 字まで．51 字以上は 2 行．行間 13 pt．ゴシック体  
<14 pt 空き
  - ・著 者 名 10 pt，1 行は 6 名まで．7 名以上 2 行．行間 15 pt．明朝体  
人数による 1 名当たりの字間  
1 名：9 倍 精 密 一 江  
4 字（名字 2 字，名前 2 字）の場合：名字・名前間は 2 倍空き，名字間・名前間は 1.5 倍空き．3 字の場合：字間は 2.5 倍と 3.5 倍空き  
2～3 名：7 倍 精 密 一 江 精 密 二 江  
3 字の場合：字間は 1.5 倍と 2.5 倍空き．名字が 1 字，名前が 3 字の場合：2 倍と 0.5 倍空き  
4～6 名：4 倍 精密一江 精密二江 精密三江 精密四江  
名字が 1 字の場合は名前との間 1 字空き，名前が 1 字の場合は名字との間 1 字空き  
7 名：7 倍 精密一江 精密二江 精密三江 精密四江  
精密 一郎 精密 二郎 精密 三郎  
<22 pt 空き
  - ・英文摘要 8.5 pt（見出しと本文とでポイント数を変えない），行間 12 pt，2 段通し，左右それぞれ 8.5 pt×3 倍空き（見出し Key words（セリフ系ボールド体）以外はすべて細字．例：Times, Century Old）
  - 表 題
  - 著 者 名 2 行取り．行間 12 pt．2 行にわたる場合は 3 行取り．例：Taro YAMADA．著者が複数の場合は and を使用
  - 摘要本文
  - Key words  
<2～3 行空き
  - ・本 文 論文内容はできるだけ簡潔・的確に整理し，各専門分野における常識的な事柄の記述は避ける．読者が論文内容を理解しやすいように平易な，口語文章体により記述する．図表なども，本文を理解するために必要な代表的なものに限る．  
章の見出しはゴシック体．章番号を除き 2 字の見出しは 3 倍の空きを入れて 5 倍とする．3 字の場合はそれぞれ 2 倍の空き，4 字の場合は全角の空き，5 字の場合は半角の空きを入れて 7 倍とする．  
節の見出しはゴシック体．節番号を除き 2 字の見出しは 2 倍の空きを入れて 4 倍とする．それ以上は空きを入れない．  
項の見出しは明朝体．
  - ・表 7.5 pt 組み，行間 11 pt，表題が 2 行以上の場合は行間 9 pt，主な罫線は細線（ヘアライン），左右の罫線は入れない．
  - ・写 真 印刷時不鮮明とならないよう解像度に注意（原則，300～350dpi 以上）．
  - ・図 説 明 7.5 pt，行間 9 pt，図とキャプションの間の空き 7.5 pt
  - ・脚 注 7.5 pt，行間 9 pt．本文中の当該箇所にも\*，\*\*，…の記号を入れ，その同じ記号と共にそのページの下方に入れる．
  - ・文 献 7.5 pt，行間 9 pt．雑誌の巻数はボールド体．参考にしたもの，関係すると思われるものはできるだけ遺漏なく列挙する．
- ・原稿ファイル：上記要領で作成した原稿を PDF 電子ファイルとし，初回投稿時【1】および原稿の修正【4】や最終原稿提出【6】の指示がある時にアップロードします．

注：mm 換算は 1 pt 約 0.3514 mm として下さい．